

# 令和元年度 れきはく講座のご案内

当館学芸職員が、日頃の調査・研究についてお話しします。各回テーマが異なりますので、講座ごとに受講できます。(全8回・受講無料・事前申込不要)

1 / 18 土

## 柳澤 和明「多賀城碑の里程と国号の謎に挑む」

当時の実態を示すと言われながらもよくわからない多賀城碑の里程や国号の謎に挑みます。里程は実態で、順番は東・西・南・北の順で、東夷の蝦夷国、北狄の靺鞨国を対置させ、日本型華夷思想を示すことを明らかにしました。



多賀城碑(拓本)

1 / 25 土

## 芳賀 文絵「文化財を真似(まね)る

～文化財の複製・レプリカ技術について～

ただの二セモノでしょ…そんなことはありません!博物館でも活躍する文化財のレプリカには、レプリカだからこそ様々な技術とおもしろさがつまっています。

文化財の複製技術についてご紹介しながら、レプリカの魅力を探ります。

2 / 1 土

## 西松 秀記「建築を伝えるわざ」

近世以前の日本において、建築の意匠や構造といった情報はどのように伝わったのでしょうか。建築は巨大であり、そのものを遠隔地に持ち運ぶことは困難です。本講座では、図面や模型といった建築を表象した資料を紹介しながら、日本建築における情報の伝わり方や、建築を伝える技について考えます。

2 / 8 土

## 渡邊 直樹「なんでも聞いてやろう!

～BCLブームと若者の時代～

当館所蔵のトランジスタラジオ・コレクションを通じて、1970年代から80年代初めにかけて日本の若者を中心に巻き起こった、海外の短波放送を聴取する「BCLブーム」を中心に、当時の若者文化についてお話しします。



BCL ラジオ

2 / 22 土

## 政次 浩「まだまだあった!! 東北の仏像と仏画」

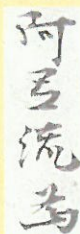
東北地方の各地域には平安時代以来、木彫りの仏像が多くまつられています。この講座では、当館の20年にわたる調査成果のなかから、近年、新たに知ることができた仏像などについて、鮮明な画像をふんだんに見ながら、その秘密に迫ってみたいと思います。

2 / 29 土

## 相澤 秀太郎「阿弭流為(アテルイ)と坂上田村麻呂」

古代の東北を舞台に躍動した2人の“英雄”，阿弭流為と田村麻呂。

古代史学の観点から、2人の“英雄”について詳しくお話しします。



蓮左文庫本『続日本紀』

3 / 7 土

## 相原 淳一「貞観津波堆積層の構造と珪藻分析」

多賀城城下の山王遺跡東西大路南側溝と山元町熊の作遺跡で検出された貞観津波(869年)堆積層固有の構造と珪藻分析について遺跡(人)と津波の関係を中心に、最新成果を詳しくお話しします。



熊の作遺跡の貞観津波堆積層

3 / 14 土

## 大久保 春野「小池曲江の新出資料について(仮)」

仙台四大画家の一人で江戸時代後期の絵師、小池曲江の絵画について、新出の絵画資料を中心にお話しします。

時間：13:30～15:00 場所：東北歴史博物館3階講堂